

F3-006

油圧ショベル兼用屈曲ジブ式移動式クレーン証明書

顧客名	株式会社 開 成
機種・号機	PC200-11 #501562
クレーン製造番号	KACW 5542 EBSA081

上記油圧ショベルは、クレーン等安全規則に基づく、移動式クレーン構造規格及び日本クレーン協会規格（JCAS2205-98）で定められた下記の安全装置を装備した、つり上げ荷重3トン未満の油圧ショベル兼用屈曲ジブ式移動式クレーンであることを証明する。

— 記 —

- 過負荷警報装置 移動式クレーン構造規格 第27条
 ・ 定格荷重およびつり荷質量表示装置 日本クレーン協会規格 JCAS2205-98
 （クレーンモニタ） （つり荷走行時の指針 JCAS2205-2005）
 - 安全弁 移動式クレーン構造規格 第28条
 ・ 圧力上昇防止弁
 ・ 急落下防止弁
 - 警報装置 移動式クレーン構造規格 第30条
 ・ 警報ブザー（過負荷警報）
 - 傾斜角表示装置 移動式クレーン構造規格 第31条
 ・ 定格荷重およびつり荷質量表示装置
 （クレーンモニタ）
 - 外れ止め装置 移動式クレーン構造規格 第32条
 ・ 外れ止め装置付きフック
 - 各種表示 移動式クレーン構造規格 第43条
 ・ 製造銘板 日本クレーン協会規格 JCAS2205-98
 ・ 定格荷重表
 ・ 定格荷重銘板
 ・ クレーン作業時の注意銘板
 - 水準器 日本クレーン協会規格 JCAS2205-98
 - 外部表示灯 日本クレーン協会規格 JCAS2205-98
- 上記油圧ショベルは、日本クレーン協会規格（JCAS2205-98）に合致しています。

東京都港区赤坂2丁目3番6号

株式会社



F3-006

(公社)建設荷役車両安全技術協会 編 クレーン機能付油圧ショベル(クローラ式)

様式SR-ECC-91-B

建荷協許諾 第17001号

定期自主検査・特定自主検査記録表

証明書
発行日 2019年9月12日

定自検査
章No. 183065

3年間保存

建設業に係る特定特殊自動車排出ガスの排出
の抑制を図るための指針に基づく検査共用

証明書
発行No. 8D1990022

特自検査
章No. 1091308

メーカー名	コマツ	管理番号	KBSA18081	使用者住所 氏名又は名称	沖縄県宜野湾市大山7-1-8 (株)開成
型式	PC200-11	パケット容量	0.800 m ³	つり上げ荷重	2.90 t
製造番号	501562	アワメーター	634 h	機械管理者氏名	池原 直章
検査場所	沖縄県宮古島市平良西里	検査業者登録番号	労働大臣登録 労41号	検査業者又は事業者 住所・名称 責任者名	沖縄県宮古島市西里1041-2 コマツカスタマーサポート株式会社 九州沖縄カンパニー宮古営業所 今井 重典
検査年月日	2019年09月11日	移動式 クレーン 定期自主 検査資格	(交付者) 建機工 (番号) E22292		

区分	No.	検査箇所	検査内容	検査方法	検査結果 良 不良	補修 内容
エンジン	1	本体	★a 始動性 かり具合、異音、予熱性、ヒーターの作動 ★b 回転の状態 アクセルの作動、回転具合 ★c アイドリング回転(1,037 min ⁻¹)、無負荷最高回転(1,725 min ⁻¹) ★d 排気の状態 排気色、排気音、排気管、マフラー等のガス漏れ ★e エアクリーター ケースの亀裂、変形、緩み、エキゾーストの汚れ、損傷、油量 ★f 締付け シリンダーヘッド、マニホールド締付けボルト、ナットの緩み ★g 弁隙間 弁隙間 (最大 mm・最小 mm)×弁最大 mm・最小 mm ★h 圧縮圧力 圧縮圧力 (MPa) 1 2 3 4 5 6 ★i 噴射圧力 噴射圧力 (MPa) 1 2 3 4 5 6 ★j 噴霧状態 噴霧状態 風O・不x 1 2 3 4 5 6 ★k 過給機 異常振動、異音、ガス漏れ、潤滑油漏れ ★l エンジンマウント ブラケットの亀裂、変形、緩み、脱落、防振ゴムの損傷、劣化	目視、操作、聴診 目視、操作、聴診 回転計 目視、操作、聴診 目視、聴診 トルクレンチ シックネスゲージ 圧縮圧力計 ノズルテスター 目視、ノズルテスター	レ	
	2	潤滑装置	油量、汚れ、油漏れ、エレメントの汚れ、損傷	目視	レ	
	3	燃料装置	燃料漏れ、ホースの損傷、老化、エレメントの汚れ、目詰まり	目視	レ	
	4	冷却装置	ラジエーターキャップ機能、損傷、ベルト(たわみ、摩耗、損傷)、ファン、カバー、ダクト等の亀裂、損傷、変形、取付	目視、聴診、スケール、ヒートアップ	レ	L
	5	電気装置	充電装置機能、バッテリー液量、端子緩み、腐食、配線緩み、損傷	目視、聴診、電圧電圧計	レ	
	6	エアコンプレッサー	異音、異常振動、エア漏れ、油漏れ、タンク内減水、作動	目視、操作、聴診、圧力計	—	—
走行装置	7	駆動軸、遊動軸	亀裂、変形、摩耗、異音、異常発熱、取付、油漏れ	目視、聴診、聴診、探傷器	レ	
	8	上部ローラー、下部ローラー	亀裂、変形、摩耗、異音、異常発熱、取付、油漏れ	スケール、パス	レ	
	9	履帯	シュー亀裂、変形、摩耗、取付、リンク、ブッシュ亀裂、摩耗、ピッチ長、たわみ、ピン抜け出し、ギョムパット、欠け、老化、摩耗	目視、スケール、探傷器	レ	
	10	ゴム履帯	スチールコード切断、損傷、ゴム(欠け、老化、摩耗)、心金脱落、たわみ	目視、スケール	—	—
	11	履帯調整装置	作動、調整ボルト等の亀裂、変形、腐食、摩耗、油漏れ	目視、操作、探傷器	レ	
	12	走行減速機	異音、異常発熱、ケース亀裂、損傷、取付、油量、汚れ、油漏れ	目視、聴診、聴診	レ	
制動	13	駐車ブレーキ(走行)	効き	目視、操作	レ	
	14					
作業装置	15	ブーム、アーム、パケット、リンク、ピン	亀裂、変形、摩耗、がた、取付、ピンシール損傷	目視、操作、ノギス、探傷器	レ	
	16	ウース	脱落、がた、摩耗	目視、聴診	レ	
	17	ブレード	亀裂、変形、摩耗、がた、取付	目視、操作、探傷器	—	—
	18	フロントアタッチメント	仕様確認、定格荷重表の最大作業半径確認	目視、操作、スケール	レ	
油圧装置	19	作業油タンク	油量、汚れ、油漏れ、エア漏れ、フリーズ目詰まり、取付	目視、石けん水	レ	
	20	フィルター	汚れ、目詰まり、油漏れ	目視	レ	
	21	配管(ホース類、高圧パイプ)	亀裂、損傷、老化、ひび割れ、おじれ、油漏れ、取付	目視	レ	
	22	油圧ポンプ	油漏れ、異常振動、異音、異常発熱、負荷時吐出量、吐出圧	目視、聴診、聴診、テスト	レ	
	23	油圧モーター	油漏れ、異常振動、異音、異常発熱	目視、聴診、聴診、テスト	レ	
	24	油圧シリンダー	作動、油漏れ、伸縮量、打点、亀裂、曲がり、揺り傷	目視、操作、スケール、タイマー	レ	
	25	方向制御弁(パケットロック弁)	作動、油漏れ、取付	目視、操作	レ	
	26	圧力制御弁	作動、油漏れ	目視、操作	レ	
	27	流量制御弁	作動、油漏れ	目視、操作	レ	
	28	逆止め弁(ブーム、アーム)	作動、油漏れ、損傷	目視、操作	レ	
	29	回転継手	回転状態、油漏れ	目視、操作	レ	
	30	オイルクーラー	冷却効果、目詰まり、変形、損傷、油漏れ、異常振動、異音、異常発熱	目視、聴診、聴診	レ	
	31					

3 年 間 保 存

証明書
発行日 2019年9月12日定自検
検査No. 183065証明書
発行No. 8D1990022定自検
検査No. 1091308

区分	No.	検査箇所	検査内容	検査方法	検査結果	補修内容						
					良	不良						
安全装置・車体関係等	32	a 操作レバー	ストローク、 ^レ がた、 ^レ アモムレフ	^レ 目視、 ^レ 操作、スケール	☒							
		b	起伏、 ^レ 旋回装置レバー未操作時の移動式クレーン作動停止	^レ 操作	☒							
	33	下部架台フレーム、ブラケット	^レ 亀裂、 ^レ 変形、 ^レ しゅう動部摩耗、 ^レ 取付	^レ 目視、スケール、 ^レ 探傷器	☒							
	34	旋回フレーム、ブラケット	^レ 亀裂、 ^レ 変形、 ^レ 取付	^レ 目視	☒							
	35	旋回ベアリング、旋回ギア	^レ 引っ掛かり、 ^レ 異音、 [●] ギヤ亀裂・ ^レ 摩耗、 ^レ 取付、 ^レ シール損傷	^レ 目視、 ^レ 操作、 ^レ 聴診、 ^レ トルレンチ	☒							
	36	旋回減速機	^レ 異音、 ^レ 異常発熱、 ^レ 油量、 ^レ 汚れ、 ^レ 油漏れ、 ^レ 取付	^レ 目視、 ^レ 操作、 ^レ 聴診、 ^レ 触診	☒							
	37	旋回ロック	^レ 効き、 ^レ 亀裂、 ^レ 損傷、 ^レ 油漏れ、 ^レ ホース損傷、 ^レ 老化	^レ 目視、 ^レ 操作	☒							
	38	レバーロック、ペダルロック	^レ 効き、 ^レ 損傷、 ^レ 変形	^レ 目視、 ^レ 操作	☒							
	39	キャブ、カバー	^レ 亀裂、 ^レ 変形、 ^レ 腐食、 ^レ 雨漏り、 ^レ ドア等開閉、 ^レ ロックキー作動、 ^レ ガラスのがた、 ^レ 損傷	^レ 目視、 ^レ 操作	☒							
	40	カウンターウエイト	^レ 取付、 ^レ ボルトの亀裂、 ^レ 変形	^レ 目視、スケール、 ^レ トルレンチ	☒							
	41	座席(調整機構、シート、シートベルト)	^レ 作動、 ^レ 損傷、 ^レ 取付	^レ 目視、 ^レ 操作	☒							
	42	昇降設備、滑り止め	^レ 亀裂、 ^レ 損傷、 ^レ 変形、 ^レ 取付	^レ 目視	☒							
	43	a 表示板(注意銘板)	^レ 損傷、 ^レ 取付	^レ 注意銘板 ^レ 目視	☒							
		b (上部旋回体、キャブ/キャブ)	^レ 定格荷重銘板	^レ 目視	☒							
	44	灯火装置、音響器、方向指示器、窓拭き器、デフロスター等	^レ 作動、 ^レ 取付、 ^レ レンズ損傷、 ^レ 浸水	^レ 目視、 ^レ 操作	☒							
	45	計器類	^レ 作動	^レ 目視	☒							
	46	後写鏡、反射鏡、カメラ	^レ 汚れ、 ^レ 損傷、 ^レ 写影	^レ 目視	☒							
47	給油脂	^レ 給油脂状態、 ^レ 各給油脂装置作動	^レ 目視、 ^レ 操作	☒								
クレーン装置	48	a	エンジン回転速度(1,318 min ⁻¹)	^レ エンジン回転計	☒							
		b	旋回速度(8 秒)	^レ ストップウォッチ	☒							
		c	外部表示灯点灯	^レ 目視	☒							
	49	水事器	^レ 取付、 ^レ 損傷	^レ 目視	☒							
	50	a	損傷の有無	^レ 目視	☒							
		b	角度検出器(ブーム、アーム)	^レ レバーの変形の有無、 ^レ 取付状態	☒							
		c	配線の損傷、 ^レ 断線、 ^レ 絶縁、 ^レ 接続部の腐食、 ^レ 焼損、 ^レ 緩み	^レ 目視	☒							
		d	フック止めねじの緩み及び脱落チェック	^レ 目視、 ^レ 操作	☒							
		e	ワイヤーロープの外れ止め装置の変形及び損傷の有無並びに機能チェック	^レ 目視、 ^レ 操作	☒							
		f	ピン及びキープレートの変形、 ^レ 摩耗及び損傷並びにボルトの緩み及び脱落の有無	^レ 目視、 ^レ 操作	☒							
	51	a	フックブロック	フックブロックの磨耗状態 ^レ 目視、 ^レ 操作	☒							
		b	フック回転部の給油脂状態チェック	^レ 目視、 ^レ 操作	☒							
		c	フックブロックのき裂、 ^レ 損傷の有無	^レ 目視、 ^レ 触診、 ^レ 打診	☒							
		d	フックの摩耗及び変形の有無	^レ 目視、スケール	☒							
		e	軸受け部のガタ、 ^レ 回転の円滑性	^レ 目視、 ^レ 操作	☒							
	52	a	損傷の有無	^レ 目視	☒							
		b	油漏れの有無	^レ 目視	☒							
		c	配線の被覆の損傷、 ^レ 接続部の緩み及び腐食の有無	^レ 目視	☒							
	53	a	モード切替スイッチとの連動	^レ 目視、 ^レ 操作	☒							
		b	荷重計の損傷の有無及び表示板の視認性	^レ 目視、 ^レ 操作	☒							
	c	荷重計の作業半径表示の異常の有無	^レ 目視、 ^レ 操作	☒								
	d	配線の被覆の損傷、 ^レ 接続部の緩み及び腐食の有無	^レ 目視	☒								
54	a	荷重計精度	^レ 警報 ^レ 表示値 ^レ 操作、 ^レ 聴診	☒								
	b	ブーム及びアームの起伏能力の有無、 ^レ 異音	^レ 目視、 ^レ 操作	☒								
	c	ブーム及びアームの起伏ブレーキ能力の有無	^レ 操作、 ^レ 聴診	☒								
	d	ブーム及びアームの起伏ブレーキ能力の有無	^レ 目視、 ^レ 操作	☒								
	e	上部旋回体の旋回能力の有無、 ^レ 異音	^レ 操作、 ^レ 聴診	☒								
	f	上部旋回体の旋回ブレーキ能力の有無	^レ 目視、 ^レ 操作	☒								
総合	55	総合テスト	^レ 作動、 ^レ 異音、 ^レ 異常振動、 ^レ 異常発熱	^レ 操作、 ^レ 聴診、 ^レ 触診	☒							
排ガス	★	一酸化炭素等発散防止装置	^レ 触媒等の緩み、 ^レ 損傷、 ^レ 排気温度警告装置の配線確認、 ^レ 損傷、 ^レ 排ガス減少装置のホース、 ^レ パイプの緩み、 ^レ 損傷	^レ 目視、 ^レ 聴診、 ^レ レンチ等	☒							
要請	次回定期自主検査・特定自主検査は 2020年09月 続きは、別紙(建荷協様式SR-ZC-03-A)に記載いたします。											
補修等の措置内容												
照合No.	補修箇所及び不具合状況		補修年月日	補修実施内容								
1-d	エアエレメント汚れ		2019年09月11日	清掃								
4	ラジエータータンク冷却水量低下		2019年09月11日	補充								
51-d	フックロックピン変形により操作不能		2019.9.19	ロックピン交換								
備考	1.検査の結果、異常のないものは、検査結果欄の良に、また異常なものは不良の欄に「 ☒ 」印の記号を記載する。 2.検査結果が異常なものについては、検査内容、検査方法欄の該当項目を○で囲む。 3.検査内容の項目に★印が付けられた項目は、関連機能が正常であれば検査を省略できる。省略した場合は★印を○で囲む。 4.検査の結果、補修等を行った場合は、補修内容欄に右の記号に従って記載する。また補修内容等の詳細説明を要するものについては、補修等の措置内容欄に記載する。 5.★及び★★印は、安衛法上及び労働安全衛生法に定める特定特殊自動車排出ガスの抑制を図るための指針に基づき決められている検査項目であるが、そのうち★★印は同指針にのみ基づく検査項目である。			記号	交換	分解交換	修理	調整	締付	清掃	給油	該当なし
				×	⊗	△	A	T	C	L	—	

[illegible]